

日本共産党議員団ニュース

【593号】日本共産党伊勢原市会議員団 2022年1月13日
宮脇俊彦 94-7584 Email:jcp.isehara.miyawaki@gmail.com
川添康大 45-0596 Email:yasuhiro.k120@gmail.com
HP : <http://isehara.kir.jp/kyou01.html>

市民の暮らし、健康を守る市政実現を



あけましておめでとうございます。

昨年の総選挙では、多くの皆さんにご支援を頂きありがとうございました。

残念ながら日本共産党の議席は後退となりましたが、はじめて政権交代を取り組んだ「野党共闘」は一定の成果を上げました。日本共産党が共闘に真剣に取り組むことで、信頼も広がりました。

また、私たちは暮らし、平和とともに気候危機打開とジェンダー平等という、日本や世界そして地球規模の大問題を国政選挙で正面から訴へ若い皆さんの共感を広げました。



さて、2022年が明けました。コロナ禍で2度目の新年も、オミクロン株感染拡大への警戒が求められ緊張が続きます。コロナに直撃され困窮する人の増加も深刻で、各地で相談・支援活動が取り組まれる年越しとなりました。

2年におよぶコロナ禍は日本と世界が抱える多くの矛盾を浮き彫りにしました。コロナ対策の無為無策で批判を招いた菅義偉政権に代わり、岸田文雄政権が発足したものの、事態打開の道筋は示せず、山積する内外の諸課題に対する能力を欠いています。コロナ禍を乗り越え、未来を開く新しい政治を実現する年にしていきましょう。

伊勢原市政についても、市民の暮らし、健康を最優先にしていくのかが問われる年になります。市民の声を市政に生かすために引き続き全力で頑張ります。力強いご支援をよろしくお願い致します。



昨年12月16日に行われた市議会一般質問で宮脇俊彦議員は、「東富岡残土積み増し問題に対する市の対応」を質問した。

東富岡611の盛り土は安全か

9月議会で「東富岡611番地で7月3日の豪雨時に盛り土から前の道路に崩落事故があったが、造成工事が計画道りに行われていないのではないか。」と質問しました。



それに対し、市からは「一部、計画道りでない施工もあった。改めて工事が計画道りか確認し、計画以上であった場合、事業者改善を指導し、崩落等が生じないように指導する。」との回答を得ました。

そこで、12月議会で「是正指導を行ったのか」と質問。

市からは「昨年10月21日に事業者立ち合いで現地確認を行い造成は計画を超えて（高さ計画3mが実際は4m以上）盛り土を行っていたことを確認した。盛り土した区域の面積、土砂の量を市に改めて報告するよう指導した。事業者から後日、盛り土の面積について、高さ4m以上、幅75m、奥行き2.5m～10m、面積490㎡で当初計画より175㎡増加していた。量は420㎡で当初計画より41㎡減だった。そこで、矢板の高さを超える土砂の搬出を業者に求めたが、事業者から、土砂の搬出は費用がかかり困難との返事もらった」と答弁があった。。さらに、市は事業者に「矢板の倒壊等による土砂の崩壊が生じないように自己（事業者）により適正に土地管理をするよう指示した。事業者はこれを了承した。」などと答弁。

工事の計画と異なる土砂搬入・盛り土を行い、市に事実と異なる報告を繰り返した事業者に対して、「土砂の崩落が発

生しないよう自己責任による管理を求めた」。これで市としての役割、「市民の安全確保」が果たされたでしょうか。

昨年の7月に熱海市で起こった悲惨な事故の教訓をしっかりと生かし、不法な盛り土による崩落事故を起こさないよう伊勢原市が責任ある対策をとることが必要です。。

盛り土は繰り返されているのでは

この土地は平成26年度以降地権者の変更が数度繰り返されたと言われています。この間に条例基準を上回る盛り土が累積されたのではないかと疑問が残ります。

平成26年度以降、どう「盛り土」が行われたのか明らかにするため「資料提出」を議会で求めました。経済環境部長より、「提出する」との答弁を得ました。資料は1月末までに宮脇議員に提出される予定です。3月議会でこうした資料をもとに再度、市の対応について質問を行う予定です。

皆さんのお住まいの地域でも「盛り土」のことで心配があれば相談下さい。

今年も1月4日よりラジオ体操開始

今年で19年目を迎える「ラジオ体操」50歳から始めました。当初は自宅で一人で。56歳からは、近所の友人と「大人数でやろう！」と意気投合し、自治会の回覧板で呼びかけ。会場は近くの自治会館前の広場を使用。現在参加者は13人ほど。正月三ケ日と雨の日を除き毎日6時半からラジオ番組に合わせて実施。肩こり、腰痛はなくなりました。10年長生きを実現したい。早朝、だんだん明るくなってきました。どなたでも参加歓迎です（宮脇俊彦）

